



# 11月のほけんだより

令和2年11月6日  
 社会福祉法人 今川学園  
 今川学園園長 篠瀬実千代

## 冬の感染症～予防のポイント～

冬は風邪やインフルエンザをはじめとする感染症が流行しやすくなるのはなぜでしょう。ウィルスは低温・低湿度を好みます。けれども人は、外気温が下がることによって、体温も免疫力も低下します。

そのため冬はインフルエンザをはじめ、風邪や急性胃腸炎などの感染症が流行します。特に乳幼児がかかると重症化する場合もあり、感染症を「予防」していくことが大切です。感染予防に一番有効だといわれているのが手洗い・うがいです。外出後、食事前、トイレ後には手洗い・うがいを習慣つけましょう。園では子どもたちに「あわあわ手洗いの歌」で手洗い指導をしています。ご家庭でも子どもたちと歌いながら楽しんで手洗いの習慣をつけてみましょう。



液体せっけん  
で手を洗おう



がらがら・ぶくぶく  
うがいをしよう



3食しっかり  
食べよう



早寝早起き  
しよう

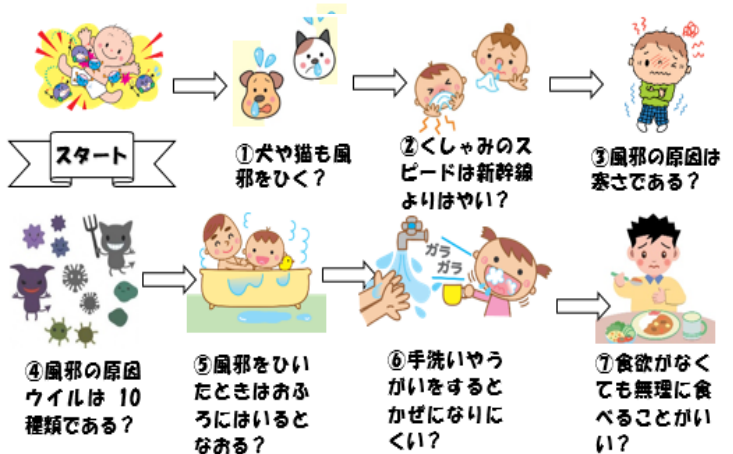
## インフルエンザの予防接種を受けましょう

インフルエンザワクチンの接種には、発症予防や、万が一発症しても重症化を防ぐ効果があります。小さな子どもの場合、ワクチン接種をしておくことで「インフルエンザ脳症」を防ぐことができるとされています。

- インフルエンザの発症が認められている地域も出てきているようです。体調を見ながら早めの接種をおすすめします。
- 子どもの場合は、1シーズン2回接種が標準です。接種してから、2週間以上たたないと効果が現れないので、12月の流行期に入る前に済ませるようにしましょう。
- ただ、アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともあります。医師とよく相談してください。

## かぜクイズ

○か× どちらでしょう？



### <こたえ>

- ① ○ 犬や猫、猿、馬などいろんな動物が風邪をひきます。 ② ○ くしゃみは1秒で80mとびます。 ③ × 寒さだけでは風邪はひきません。ウイルスや、細菌が原因です。 ④ × 200種類以上のウイルスや細菌があります。 ⑤ × 熱があるときにお風呂に入ると体力を消耗してしまい、悪化することがあります。 ⑥ ○ かぜがうつる原因のほとんどが、手から体の中にウイルスや細菌が入ることです。 ⑦ ○ かぜでおなかの調子が悪くなっていることもあるので、食べられるものを食べて、ゆっくり休むことが大切です。でも水分はしっかり取りましょう。

10月9日に目のお話をしました。いろいろな生き物の目の見え方や、目の役割、目の嫌がる事をお話しました。お友だちの顔を見ながら眉毛やまぶた、目の形を確認してきていましたよ。

# あわあわ 手あらいのうた

♪ おねがい、おねがい

カメさん、カメさん

あのさんかくの

お山のうえで

おおかみ

おととつとつと

おっこちそう

いそいでバイクを

ぶるるん うんてん

ききいっぱつ

つかまえた!

ありがとう カメさん

みんなで

ごちそうです

手をあらいませう

タオルでふいたら

いただきます



1 おねがいのポーズ

てのひらをあわせてスリスリ。まずはいちばん広いところからしっかりとね。



2 カメのポーズ

親子ガメのように両手を重ねてスリスリ。忘れがちな手の甲もきちんと。



3 お山のポーズ

指と指を組んで三角のお山を作ってゴシゴシ。洗いにくい指の間も上手に。



4 おおかみのポーズ

おおかみのようにつめを立てて、ゴシゴシ。中に隠れたバイ菌を追い出そう。



5 バイクのポーズ

バイクの運転みたいに、親指をつけ根からぐりぐり。お口に入りやすい指だからね。



6 つかまえた!のポーズ

手首をにぎってぐりぐり。お顔かき、お勉強で机にあたる手首は意外に汚れてる。



10数えるまですすいたら、



きれいなタオルでふいて、できあがり!